

# 磯崎氏与党から進退論

## 公明幹事長「発言看過できぬ」

磯崎陽輔首相補佐官が安  
全保障関連法案をめぐり、  
「法的安定性は関係ない」  
と発言した問題について、  
与党内から31日、進退論が

出た。法案を審議する参院  
特別委員会は8月3日、磯  
崎氏を参考人として呼び、  
発言について質疑するが、  
内容次第では尾を引く可能

性がある。  
公明党の井上義久幹事長  
は31日の記者会見で「法的  
安定性を最重視することは  
与党で合意している。それ

を軽視するかのような発言  
は看過できない」と批判。  
「進退は自ら判断するのが  
政治家の基本だ」と述べ、  
進退に言及した。自民党の  
吉田博美参院国対委員長も  
会見で「まず真意を話して  
野党の誤解をとけばいい。  
どうしても理解が進まなか  
ったら、それなりの判断を  
本人がするんじゃないか」  
と述べた。閣僚では、石破

茂・地方創生相が31日の記  
者会見で「発言のその部分  
だけ取ると、全然適切だと  
思わない」と発言した。  
野党は磯崎氏とともに、  
安倍晋三首相の任命責任も  
問う構えだ。民主党の岡田  
克也代表は31日の会見で  
「発言は非常に問題があ  
り、国会で説明することは  
当然必要だ。首相の任命責  
任も免れない」と批判した。